



守ろう暮らし 創ろう空間 ～荒川第二・三調節池～

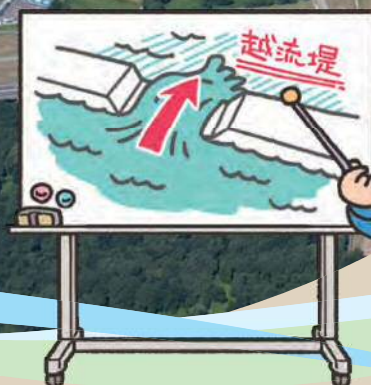
荒川調節池工事事務所

埼玉・東京を
洪水から守ります

なるほど!!

ちょう せつ ち

荒川第二・三調節池



荒川治水 近代現代 ヒストリー

1910(明治43)年の大洪水をきっかけに、荒川の改修計画が策定されました。その後、二瀬ダムや荒川第一調節池、堤防の整備などを行い、治水安全度が高まりましたが、令和元年東日本台風では再び甚大な被害が流域で発生しました。荒川の改修は、まさに洪水との戦いなのです。

明治

1910(明治43)年 **洪水** 明治43年大洪水

1911(明治44)年 **計画** 荒川改修計画策定

対策 荒川放水路工事に着手

大正

1918(大正7)年 **対策** 荒川上流域の改修に着手

1924(大正13)年 **対策** 旧岩淵水門完成 ⇒MAP①

対策 横堤の整備に着手

昭和

1929(昭和4)年 **対策** 荒川放水路完成 ⇒MAP②

1947(昭和22)年 **洪水** カスリーン台風、荒川12か所で決壊

1950(昭和25)年 **計画** 荒川総合開発計画策定

1951(昭和26)年 **対策** 横堤の完成(27か所)

1954(昭和29)年 **対策** 荒川上流改修工事竣工

1961(昭和36)年 **対策** 二瀬ダム完成 ⇒MAP③

1965(昭和40)年 **計画** 荒川水系工事実施基本計画策定

1982(昭和57)年 **対策** 岩淵水門完成 ⇒MAP④

1999(平成11)年 **対策** 浦山ダム完成 ⇒MAP⑤

洪水 平成11年8月洪水

2003(平成15)年 **対策** 合角ダム完成 ⇒MAP⑥

2004(平成16)年 **対策** 荒川第一調節池完成 ⇒MAP⑦

平成

2005(平成17)年 **対策** さいたま築堤事業に着手

2007(平成19)年 **洪水** 平成19年9月洪水 荒川第一調節池完成後、初めて洪水が流入

計画 荒川水系河川整備基本方針策定

2008(平成20)年 **対策** 朝霞調節池完成 ⇒MAP⑧

2011(平成23)年 **対策** 滝沢ダム完成 ⇒MAP⑨

2016(平成28)年 **計画** 荒川水系河川整備計画策定

2018(平成30)年 **対策** 荒川第二・三調節池の整備に着手 ⇒MAP⑩

令和

2019(令和元年) **洪水** 令和元年東日本台風、越辺川・都幾川5か所で決壊

2020(令和2年) **計画** 荒川水系河川整備計画変更



旧岩淵水門



荒川放水路



二瀬ダム



岩淵水門



平成11年8月洪水



荒川第一調節池



平成19年9月洪水



朝霞調節池



荒川第二調節池(整備中)



荒川第三調節池(整備中)



荒川の過去の大規模洪水



■1910(明治43)年 大洪水

利根川の洪水と合わせて埼玉県内の平野部全域が浸水、荒川流域内の堤防決壊178か所、延長約8,900m、死者行方不明者399人と、甚大な被害をもたらしました。明治政府は「臨時治水調査会」を設け、抜本的な治水計画にのり出しました。

■1947(昭和22)年 カスリーン台風

昭和・平成の時代を通じて、荒川に最大の洪水被害をもたらすことになったカスリーン台風。荒川では、田間宮村(現鴻巣市)で堤防が約65mに渡り決壊し、続いて熊谷市久下地先で約100mに渡り堤防が決壊。死者行方不明者は109人に上りました。

■2019(令和元年) 東日本台風

関東東北地方を中心に計140か所で堤防が決壊するなど、極めて甚大な被害が広範囲で発生しました。荒川の支川である越辺川や都幾川でも堤防が決壊し、流域の死者は4人に上りました。

荒川流域MAP

荒川の流域範囲



これまで、上流域では降った雨をより多くためるための対策、下流域では洪水をより早く安全に流すための対策を中心に行ってきました。そして、現在の治水対策は、荒川第二・三調節池整備を代表とする中流域に移ってきています。

マンガコラム 荒川は昔、荒ぶる川だった?



そしていよいよ
荒川第二・三調節池の
本格整備へ

なるほど!!

荒川第二・三 ちょうせつち 調節池って？

～洪水時に荒川の水の一部をためこみ、調節池
下流の水位上昇を抑えることができる施設です～



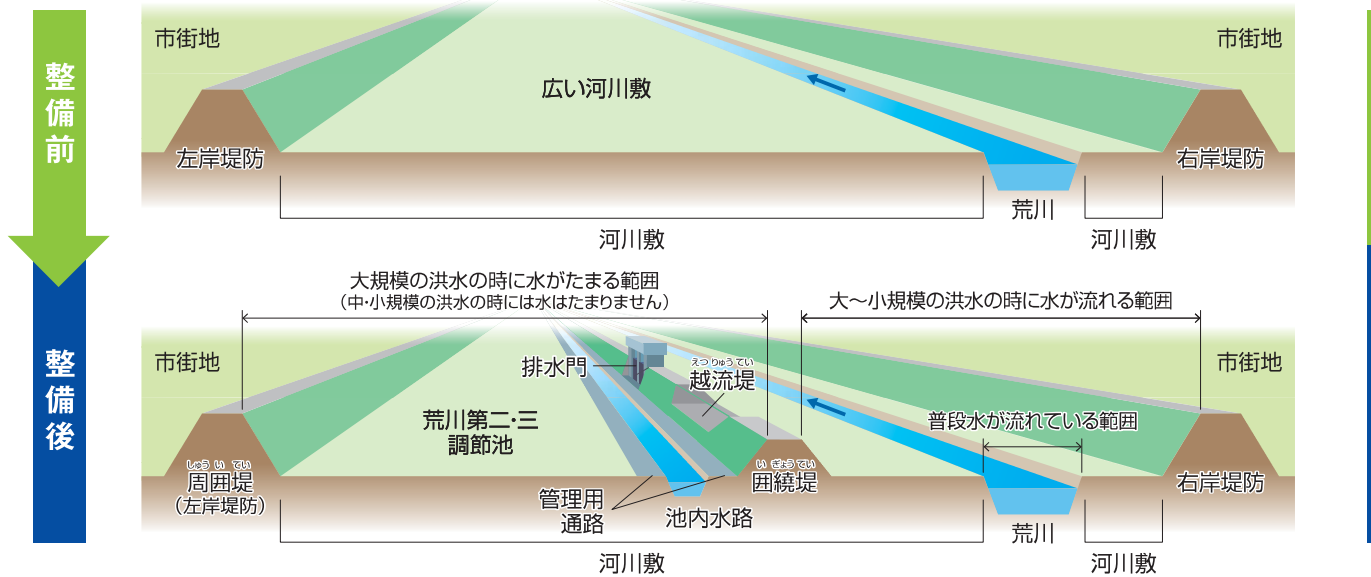
荒川は、埼玉県こぶしがたけの甲武信ヶ岳から流れだし、東京湾にそそぎこむ河川です。

首都圏を流れる荒川の流域内には、日本の人口の約1割の人が住んでおり、私たちの暮らしを支える重要な河川です。

荒川の中流域には広い河川敷があり、この特性を活かした「荒川第二・三調節池」を整備することにより、特に人口や建物などが集中している埼玉県南部と東京都区間の荒川流域を洪水から守ります。

荒川第二・三調節池は、埼玉県さいたま市・川越市・上尾市にまたがり、令和12年度の完成を目指して整備を進めています。

立体断面 (上流から下流方向を見た図)



マンガコラム

調節池をつくる効果はなに？ なぜ2つ必要なの？

河川敷に堤防をつくって調節池にするだけなら、川全体が大きくなるわけじゃないんだよね？

それなのに、どうして安全になるの？

1つめの理由は、川の水位が高くなるまで、広い河川敷の空間を残しておくからだ。

水位が高くなり危険になってから水を調節池にためこむ方がずっと効率的なんだ。

ほかに理由があるの？

そう。まだあるんだ。

川の水が河川敷を流れるときは、滑り台のように水面が上流から下流へ斜めになるけど…

調節池になったら、コップの水のように上流から下流まで同じ高さで水がたまるんだ。

うーん…。

水面が同じ高さでたまるということは、下の図の水色部分が広がるイメージ？

そういイメージだね！

調節池には水が同じ高さでたまるから、その水をためるため、堤防も上流から下流まで、ほとんど同じ高さで作るんだ。

だから、下流に行くほど堤防は大きくなるけれど、大きすぎるとするのが大変になってしまふ。

だから今回の工事では、調節池を2つに分けて、堤防が大きくなりすぎないように効率的に整備するんだよ。

調節池の水面は水平なので、調節池を曲う堤防も同じような高さで整備

洪水の対策って、いろいろ考えて計画されているんだね。